



新潟市立江南小学校

令和7年6月18日

挑む・考える

考える部便り No.8



ご感想・研修へのご意見
お待ちしております。←

学習時間より学習方略が成績に影響する

成績は学習時間の長さによるのでしょうか。それとも別の要因でしょうか。皆さんはどのように考えていますか。少し前の記事で恐縮ですが、2021年5月25日の朝日新聞「学びを『科学』する」に、「学習時間より『学習方略』が成績に影響する（木村治生）」というタイトルの記事があります。全国の小学校1年生から高校3年生までの子どもとその保護者の約2万人を対象とした調査を行い、その分析について詳しく書いてあります。詳しいことは、右上のQRコードから入って、直接読んでいただきたいのですが、簡単にまとめると、下記のようになります。



- ・学習の量である学習時間も、学習の質である学習方略も成績に影響する。
- ・一定量の学習は必要だが、やみくもに学習時間を延ばすのは効果的でない。
- ・学習方略の方が学習時間より成績に影響する。
- ・学習方略が十分に発揮されるには、一定量の時間が前提である。
- ・学年が低いほど、学習時間の効果は強く表れる。
- ・学年が上がれば上がるほど、学習時間を延ばすだけでは難しい。
- ・学習時間や学習方略に影響するのは、学習意欲やメタ認知である。
- ・メタ認知は小学校高学年からつき始めるが、突然つくのでもない。小さい頃から学ぶことの価値や楽しさを教師や保護者が伝え、自ら考えることを促すことが大事である。
- ・学習意欲が高いほど、学習時間が長く、学習方略に取り組む比率が高い。
- ・大学での学習時間は高校の学び方に関係する。高校在学時、「まじめに授業に出席」よりも「興味をもったことを自主的に勉強した」「グループワークやディスカッションに積極的に参加した」「計画を立てて勉強した」生徒ほど、大学での学習時間が長くなっている。

皆さんの経験や
知識と一致している
項目はいくつ
ありますか？

17日から学習強調週間が始まりました。上述の分析を生かして取り組んでいきたいです。まず、学習時間を確保できているか確認し、どのような学び方をしているかも共有したいです。学習時間が足りないときは、「もっと増やそう」という働き掛けだけでなく、学習意欲が高まっていない可能性もあるので、課題の種類や量を選択できるようにしたり、魅力的な自学のテーマを例示したりしながら、子ども自身の「もっと学習したい」という気持ちを育みたいのです。また、低学年でも、学ぶ意味や学び方について考えることは大切です。「なぜ学ぶのか」「分かることは楽しい」という学習動機を共に考えながら、自立した学習者に近づけていきたいです。

話題提供授業 テーマ 振り返りの活用 算数 7月3日(木) 6限 導入10分程度、終末5分 場所：4年2組教室

振り返りの授業公開は今回で3回目です。このテーマは今回が最後ですので、まだ参観していない方はお越しください。